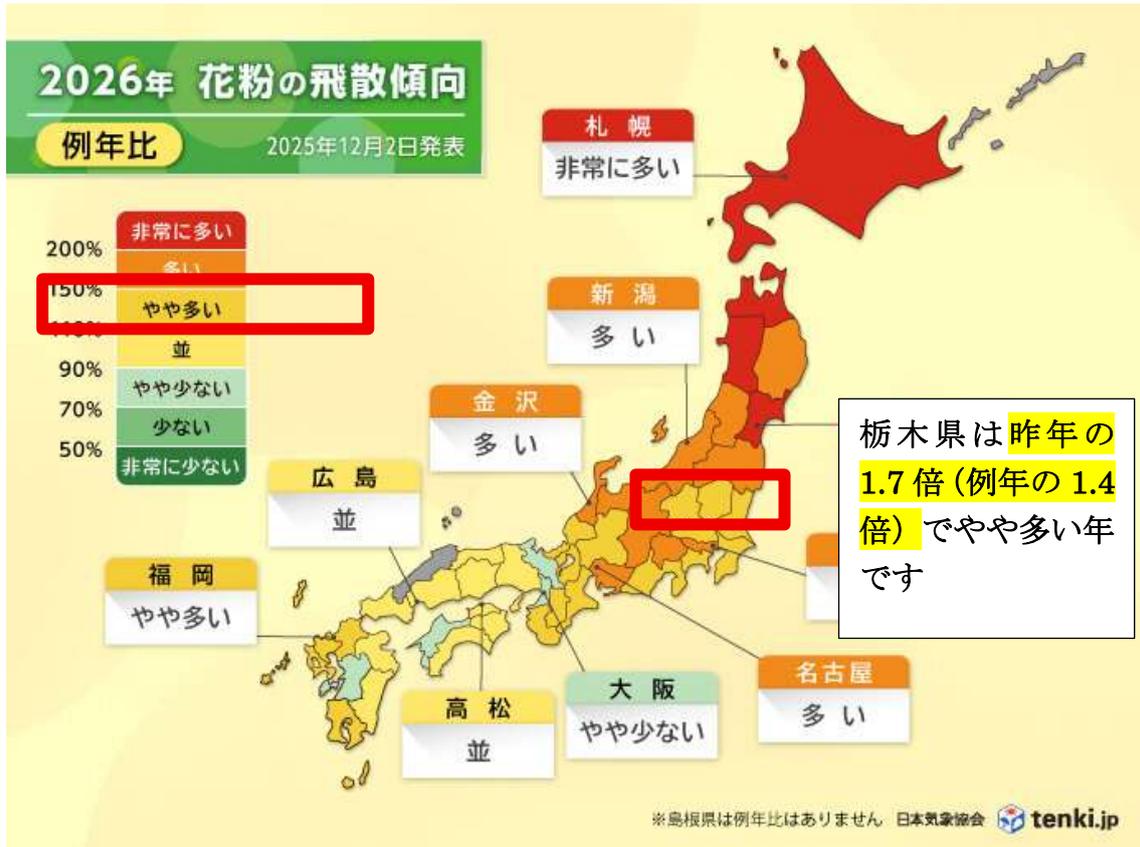


もりのくま通信第330号 令和8年2月20日号

【330号になりました：最近の流行情報】

インフルエンザBが大流行しています。B型>胃腸炎>コロナ>溶連菌>A型の変異株（AH3N2 亜種 サブクレード K: J.2.4.1.）といった流行です。11月と2月に2回流行のピークが来ることは珍しく、近隣の流行情報にどうかお気をつけ下さい。



今年は昨年と比べて、栃木県を含む北関東・南東北地域はスギ花粉飛散量が多くなると予想されております。今年の栃木県のスギ花粉飛散開始予想は、2月中旬です。飛散開始時期に確実にお薬を飲み始められるように、2月上旬になりましたらお薬を処方させていただいた方が良くと思います。ハンノキ花粉症がある方は1月下旬には症状が出始めます。そのような方は、すぐに処方致します。

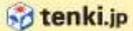
症状を和らげるためには、必要なアレルギー検査から、アレルギーを避けること、適切な内服薬や点鼻・点眼薬、ゾレア注射からスギ花粉症に対する舌下免疫療法まで全て一貫して県内小児科では6名のみアレルギー専門医・指導医である院長や看護師の専門医に相当する小児アレルギーエデュケーター有資格者が丁寧に対応致します。

当クリニックはこどもとアレルギーの専門クリニック、お尋ねになりたいことがあれば何でも気軽に当院スタッフまでお問合せ下さい。

2026年 各地域の花粉飛散傾向

地方	例年比	前シーズン比	2025年 夏の気象(6~8月)		
			気温	日照時間	降水量
北海道	非常に多い 250%	非常に多い 420%	かなり高い	かなり多い	平年並
東北	非常に多い 200%	非常に多い 730%	かなり高い	かなり多い	かなり少ない
関東甲信	やや多い 140%	多い 170%	かなり高い	かなり多い	かなり少ない
北陸	多い 160%	非常に多い 270%	かなり高い	かなり多い	平年並
東海	やや多い 140%	多い 150%	かなり高い	かなり多い	かなり少ない
近畿	並 100%	やや少ない 80%	かなり高い	かなり多い	少ない
中国	並 100%	少ない 60%	かなり高い	かなり多い	少ない
四国	並 90%	やや多い 110%	かなり高い	かなり多い	少ない
九州	並 100%	少ない 60%	かなり高い	かなり多い	平年並

2025年12月2日発表

日本気象協会  tenki.jp

2025年夏は、全国的に高温・多照で、雄花が形成されやすい気象条件となりました。一方、2025年春（前シーズン）の花粉飛散量は、西日本では例年より多く、東日本と北日本では少ない傾向でした。飛散量が多い翌年は雄花の形成が抑えられるため、2026年春の花粉飛散量は、西日本では広い範囲で減少するでしょう。東日本と北日本は増加する条件が揃いました。（<https://tenki.jp/pollen/expectation/>より引用。）



LINEからも、診療時間や予防接種情報、病気の流行やワクチン、急な出張（休診）のお知らせを積極的に発信していきます。
どうか登録をお願い致します。
 登録、200名を超えました！！
 有り難うございます！！